しまなみ農業だより

カンキツ類の新植苗木の管理

3月中旬頃に植え付けたカンキツ類の苗木は4月の中頃から発芽が始まり、5月頃にかけて芽が伸びてきます。ここまでくれば苗木も一安心といったところです。今回は、カンキツ類の新植苗木の管理について解説します。

1　苗木の活着

苗の芽が長く伸び始めれば一応、苗木は活着したといえます。旧葉の落葉が見られても幹の変色がなければそのうち発芽してきます。最悪なパターンは葉が付いたまま枯れてしまうと、ほぼ枯死する場合が多く、しばらく放置して様子を見ますが、幹の変色（黄色く生気が消失）が見られると枯れてしまいます。原因は、排水不良や肥料のやりすぎ、植え付け後の過乾燥などにより苗木の細根が枯れることが原因と考えられます。

2　定植後の苗木管理

①　新芽の管理

苗木の新芽は、旧葉の基（もと）から数本発芽する場合が多く、新芽を充実させるため、5センチ程度伸びた頃によく伸びた新芽を1節1本に整理します。この時期の新芽は、上から下に軽く抑えると簡単に取ることができます。特に接ぎ木部付近の下位から発芽する新芽は全て除去します（写真1参照）。また、春先は新芽にアブラムシ類の寄生やケムシ類により食害されることがあるので、林地に近い園地などでは被害の発生に注意しましょう。

写真1　芽かき前（左）と芽かき後（右）

②　管理のポイント

カンキツ苗木の定植後の注意点は以下のとおりです。

・接ぎ木部が地面よりも上になるように植え付ける。

カンキツの苗木は一般的にカラタチに接ぎ木をしています。カラタチは根量（こんりょう）が多く、穏やかな生育をするため台木として古くから使われてきました。しかし、台木より上の穂（カンキツ品種）の部分が土に埋まると、穂から発根する場合があり、樹勢が旺盛となり、なかなか結実しなくなります。植え付け後も植穴の土の陥没などで埋まる場合があるので注意します。

・植え付け後の排水不良や過乾燥に注意。

苗木は根量が少なく、排水不良や過乾燥により根に影響が出やすく、潅水量や潅水頻度に注意し、株元周りに敷き藁や敷草を行うと適度な土壌水分の保持と抑草効果があります。

・苗木の施肥は少量多回数おこなう。

発根は6月頃から始まるため、この頃から月に一回、苗木1本あたり一握りの肥料を株元から少し離してふります。苗木を早く大きくしようと、肥料量を増やしたり株周りに堆肥を山盛りにすると苗が枯れることがあるのでやりすぎは禁物です。苗木を効率よく成長させるためには、6月以降に発生してくる夏芽を上手に育てていくことが重要です。春芽同様、1本に芽かきを行い、ミカンハモグリガ（エカキムシ）やアゲハチョウに葉を食べられないように、エクシレルSEなどの農薬を上手に使い、支柱を立てて長く伸ばすことで樹勢が旺盛になります。

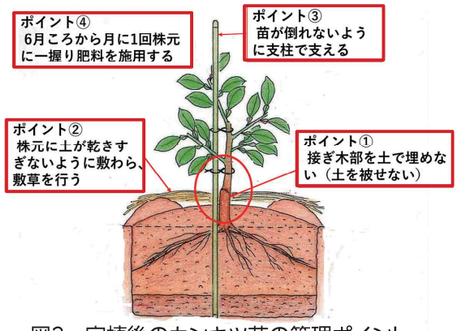

図2　定植後のカンキツ苗の管理ポイント

119番 緊急通報要領

～いざという時に
あわてないために～

一刻一秒を争う消火活動や救急・救助活動のために119番通報は重要なものです。

いざとういう時のために、119番通報についての留意事項を紹介します。

①　通報前の留意事項

【火災や事故の場合】

通報している場所まで煙や火が拡大するなど危険が迫っている場合は、すぐに避難し安全な場所から通報してください。

②　通報時の留意事項

119番通報の際、消防署の職員から「火事ですか？救急ですか？」と聞かれます。また、次のような情報をお尋ねしますので、落ち着いて対応をお願いします。

【火災の場合】

・場所（近くの目標物）
・何が燃えているか？
・逃げ遅れはいないか？
・通報者の氏名・電話番号

【救急・救助の場合】

・場所（近くの目標物）
・誰がどうしたのか？
・どういう事故か？
・怪我人はいるか？
・通報者の氏名・電話番号

③　携帯電話からの通報にかかる注意点

消防本部の管轄境界付近で通報したとき、通報場所を管轄する消防本部とは異なる消防本部につながる場合があります。この場合、通報を受けた消防本部から通報場所を管轄する消防本部へ119番通報が転送されますので、電話を切らずにお待ちください。

能登半島地震支援派遣を終えて

消防防災課　石割大貴

私は、企画情報課の田名後祐士主事と2名で、総勢20名の愛媛県被災地支援連携チームの一員として、令和6年1月29日（月）から10日間、石川県輪島市で避難所支援活動を行いました。派遣された鵠巣（こうのす）小学校は、避難所には指定されていませんでしたが、一時は約120人の住民が避難し、私たちの派遣時には約40名の方が、小学校の教室を避難所として生活していました。支援業務は24時間勤務の2交代で、避難所に届く物資の受け渡しや、臨時入浴施設の管理等を行いました。

輪島市の避難所運営職員も被災しており、気丈に振舞っておられましたが、精神的にも肉体的にも疲れているのが分かりました。派遣期間を終えるころには、「もっと助けになりたい」との気持ちが強くなり、後ろ髪を引かれる思いで帰路に着きました。

今回の派遣で、被災地支援の必要性を強く感じ、今後も継続的な支援が必要だと感じました。

岩城方面隊第三分団ポンプ自動車を更新

ポンプ自動車の更新により、令和6年2月から新たなポンプ自動車が岩城方面隊第三分団に配備されましたので、紹介いたします。

令和6年2月28日（水）午前11時30分から納入式が行われ、上村町長から消防団長へ車検証と鍵が渡されました。その後、納入業者から車両取扱いの説明がありました。

令和6年2月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R6累計
火災	1	0	0	0	0	1	1
救急	26	9	1	0	0	36	73

（令和6年2月29日現在）

上島町消防署　☎77-4118
上島町消防本部 消防防災課　☎77-3166

上島町消防団　絶賛募集中！！